

新倉ふるさと民家園 だより

令和4年
8月号

編集・発行 和光市古民家愛好会 情報活動チーム

イベント箱

※印の付いた行事等はサポーター向けのものです。

2022 8 葉月	1 (月)	6 (土)	6~7 (土・日)	7 (日)																																									
	※ 環境整備 チーム会議 13:30~	まこも馬づくり 10:00 から来園者希望先着 10名と一緒に 七夕に飾るまこも馬を作ります。	新倉の七夕	※ イベントチーム 会議 13:30~																																									
葉の落ちる月「葉落月（はおちづき）」が 転じて「葉月」。現代感覚では葉が生い茂る 様子を思い浮かべますが、旧暦では7月か ら秋となるため、秋真っ盛りだったのです。 今月の休園日 <table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ■は、休園日	日	月	火	水	木	金	土	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				9 (火)	10 (水)	13 (土)~16 (火)
	日	月	火	水	木	金	土																																						
1	2	3	4	5	6																																								
7	8	9	10	11	12	13																																							
14	15	16	17	18	19	20																																							
21	22	23	24	25	26	27																																							
28	29	30	31																																										
※ 情報活動 チーム会議 13:30~	※ 調整会議 10:00~	※ 運営委員会 17:00~	盆棚飾り																																										
17 (水)	24 (水)	27 (土)																																											
※ 常勤者会議 13:30~	※ サポーター研修 スマホ教室 13:30~	※ クリーンデー 8:30~																																											
サポーター研修 昔遊び 13:00~15:00 13 (土)	昔遊び体験教室 13:30~16:00 27 (土)	わた工房 10:00~11:30 サポーター講習会含む ※5, 12, ※19(金)	わら工房 10:00~11:30 サポーター講習会含む 4, 18 (木)																																										

七夕飾りの まこも馬と短冊に願いを込めて

会長 星野 裕 司

8月7日は新倉村の農家にとっては1月遅れの七夕です。笹に願いごとを書いた短冊を捧げ、まこも馬のオスとメスを飾ります。その他にも野菜を盛りつけます。まこも馬はその名のとおりに藁で作るものではなく、湿地帯に生えている真菰という植物を使います。

私はその真菰を採るため、7月8日に和光自然環境を守る会の赤松さんと越戸川に入りました。赤松さんの話によれば、この時期の越戸川の水温は18℃ぐらいといいますが、年間を通してそれほどの変化はないといいます。越戸川の上流域は、ここ新倉ふれあい橋から遡ること約1km上流に「七つ釜」という湧水地と、朝霞市の「広沢の池」からの湧水と、新倉1丁目の強清水の湧水から流れて来ているので、水温が一定だということです。ここの真菰は、約10年前に赤松さんたち守る会の方々に植えたそうです。

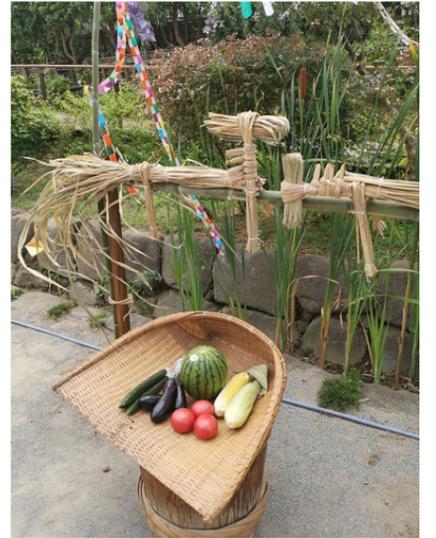
越戸川では、この春にはカルガモの雛が10羽生まれ育ちました。またカワセミがよく飛んでいるのを見かけます。それほど水質がきれいな川です。

ところで新倉村の時代、91歳になる私の父、星野一雄が少年だったころも、七夕飾りを毎年自宅の庭で行っており、真菰を湿地帯に刈り採りに行ったということ

した。その場所は、今は住宅がたくさん立ち並んでしまいましたが「谷津田」という場所で、新倉氷川八幡神社のある高台と、朝霞市側の根岸台との間にある谷津と言われる湿地帯でした。この一帯は昔から谷津と呼ばれ谷あいの細長い湿地帯のことです。この湿地帯にはたくさんの真菰が自生しており、刈り採りに行っていたということです。

父の話によれば、七夕飾りというのは農家の伝統的な文化行事であり、彦星と織姫が一年に一度天の川で出会う日とされていますが、新倉村ではこの日に芋の葉にたまった朝露を集めて硯に入れ、その水を使って墨ですって、筆で短冊に願い事を書く風習があり、字が上手になるようにという、祈りの気持ちがあったということです。

なお、七夕が終わった後は、豊作祈願の意味で七夕飾りに使った笹を、畑に持って行って突き刺したといいますが、このように、農家の伝統的文化行事「七夕飾り」はさまざまな願いを込め行われていました。



サポーター研修 スマホ教室

グループLINEの扱いを中心としたサポーター限定の初心者向けの研修を行います。

8月24日(水) 13:30~

場所/白子吹上コミセン
講師/情報活動チーム

申込み/8月10日までにグループLINE「民家園サポーター室」または、メールで名前と「スマホ教室参加希望」と記入のこと。
希望者多数の場合は厳正な抽選により決定します。



8/27
(土)

8:30am~

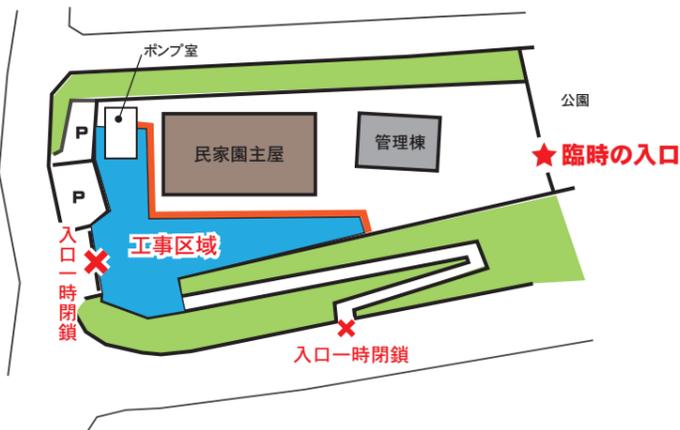
クリーンデー

にご協力を

●一般のサポーターの方も、帽子、長袖上着、手袋持参で汚れてもいい服装でご参加ください。

工事のお知らせ

公園側に臨時の入口を設けます



7月27日から8月3日まで、工事に伴い正門(潜り門)及びスロープ出入口は閉鎖となります。この期間の入園は、公園連絡門を利用することになります。

民家園はクールオアシス 協力施設

どうぞ涼みに
お立ち寄りください

土間には涼しい風が吹き抜けます



越戸川の真菰を刈る赤松さんと会長

土用干し

7月20日(水) 9:00から10:45

参加サポーター 20人

土用干しとは、夏の土用のころに衣類や書籍を、風をよく通し、陰干しすることで虫やカビがつくことを防ぐ年中行事です。

この日は日中猛暑の予報の中、午前9時に開始。

主屋内の神棚、展示物、農機具、座布団等を庭に出して室内をハ



タキ掛け、雑巾で拭き掃除、最後にザシキ、カッテにワックスを塗り、庭に出した神棚等を元に戻して終了。

途中給水タイムを10分間設けましたが、皆さんの頑張りで短時間で終わることが出来ました。皆さん、暑い中お疲れ様でした。感謝!!



民家園の達人紹介

第6回



今月は 北村ユリさん

(フラワーグループメンバー)

若手メンバー・実は1期生

昭和63年、潮風と共に生活をしていた私たち一家は、小さな漁師町から和光市に移り住みました。

しかし、隣接する家は板橋区、利用する交通機関は都営三田線、会社勤めをしている時期は、およそ和光市に住んでいるとは思えない生活をしていました。母の介護のため長年勤めた会社を辞めたとき、自分の住んでいる和光市について、何も知らないこ

とに気づきました。そんな折、たまたま目にした広報に、古民家サポーター養成講座受講者募集の記事を見つけ、思い切って参加してみることにしたのです。知らない人、知らない場所、ちょっとした冒険に出るような気分でのぞんだ講習会でした。

サポーターになってからは、何も知らない私を直ぐに受け入れてくださり、介護で活動が出来ない時期でも、民家園には私の居場所がありました。最後の数年間は、全く民家園に顔を出すこともできなかったのですが、介護生活が終わり、穴の開いたような生活の中、再び訪れた民家園にずいぶん助けられました。

今では、常勤者として微力ながらお手伝いできることが生きがいの一つになっています。フラワーグループでの活動は楽しく、美しく育つ花に癒され、仲間との何気ないお喋りに元気づけられています。

園内で私を見かけたら気軽に声をかけてください。楽しいひと時を過ごしましょう。

新倉の昔の子ども遊び シリーズ③

イナゴ取り



サポーター 高野恵子さん

「遊びと言えば、近所の子とおはじきとかケンパとかー、」と言いかけて、「夢中になって楽しかったのはイナゴ取りです。」と語り始めた高野恵子さん。高野さんは畑グループの一員で、民家園の上の畑で、じゃがいも、さつまいも、大根を始めとして年中行事のお供え物も含めて諸々の野菜を見守り育て、暑い日も雨の降り出すような日も農作業に余念がありません。

「子どもの頃、住んでいた仙台の市街地を外れると、もうそこは自然がいっぱい、小川があって、森や田んぼが広がっていました。田芹摘み、ドジョウ掬い、栗拾いなども自由にできました。稲の刈入れが終わった頃、束にして積んである所にはイナゴが集まっているので、朝から、母と私は勇んでイナゴ取りに出かけます。私は母が縫っておいてくれた布袋の口に竹の筒を差し込んで縛り、目の前のイナゴを取っては入れ、取っては入れ。もちろん素手ですよ、



袋はすぐに一杯になります。

家に帰って、お湯を沸かし、ドサッとイナゴを入れて、柔らかくなったらざるに上げて…、ここまでは母の仕事ですがその後、私たちはイナゴの羽根と足のギザギザの部分を取り去ります。取っても取っても作業は終わらない感じ。甘辛く煮て佃煮の出来上がり。」

今は店頭に出回ることもなく、味のわかる人が少なくなっていますが、高野さんは出かけた先で目にする、必ず買い求めるほど馴染みのある惣菜だそうです。お母様と一緒に夢中になった時間は、大事な思い出であり、心の糧にもなって、今の高野さんの元気な姿があるのだと実感しました。

(聞き手 副島)

運営委員会報告

開催日時 令和4年7月6日 午後5時から

報告及び協議事項として、下記の件が審議され、いずれも全会一致で承認されました。

- 1 6月活動状況報告について
高倉副会長から報告
- 2 連絡調整会議報告について
インターンの受け入れについて他星野会長から報告
- 3 予算の執行状況報告(第1四半期分)
川畑会計から報告

- 4 放水銃取換工事詳細日程報告について
7/27～8/3まで民家園入口を閉鎖
公園側に臨時入口を設置する
- 5 新倉児童館まつりへの参加について
紙飛行機作り、コマ回し技術指導に3名派遣
- 6 新倉小学校わこうっこクラブの民家園訪問について
8/8小学生1～6年生15人が来園予定

※くわしくは、民家園ホームページをご覧ください。

